

安全文化の7原則 ポスターのご紹介

資料提供：

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の一

優先

「安全最優先」を^①箇印に掲げる。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の二

率先

トップ自らが^②優先垂範していく。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の三

確立

安全確保の仕組みと^③基礎を作る。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の四

承

相手を受け入れ、^④承知する。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の五

観

常に良く^⑤観察し、問いかけ学ぶ。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の六

潜

潜在的リスクを^⑥覚悟する。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会

安全文化の7原則 其の七

啓

心を^⑦書き、自由にものを言う。

○安全文化の7原則

1. 安全最優先の原則が組織で徹底されることを組織員である個人に認識されていること
2. トップが安全のコミットメントを組織のリーダーシップにより明確にすること
3. 業務計画に安全確保の目標が組み込まれていること
4. 組織幹部・組織・部門間および一般社会との間で明確なコミュニケーションがなされていること
5. 組織員による組織員である個人は、安全や健康の維持のリスクを認識すること
6. 組織員による組織員である個人は、業務や健康の維持のリスクを認識すること
7. 自由に発言し、迅速に意思決定する組織環境であること

日本原子力技術協会